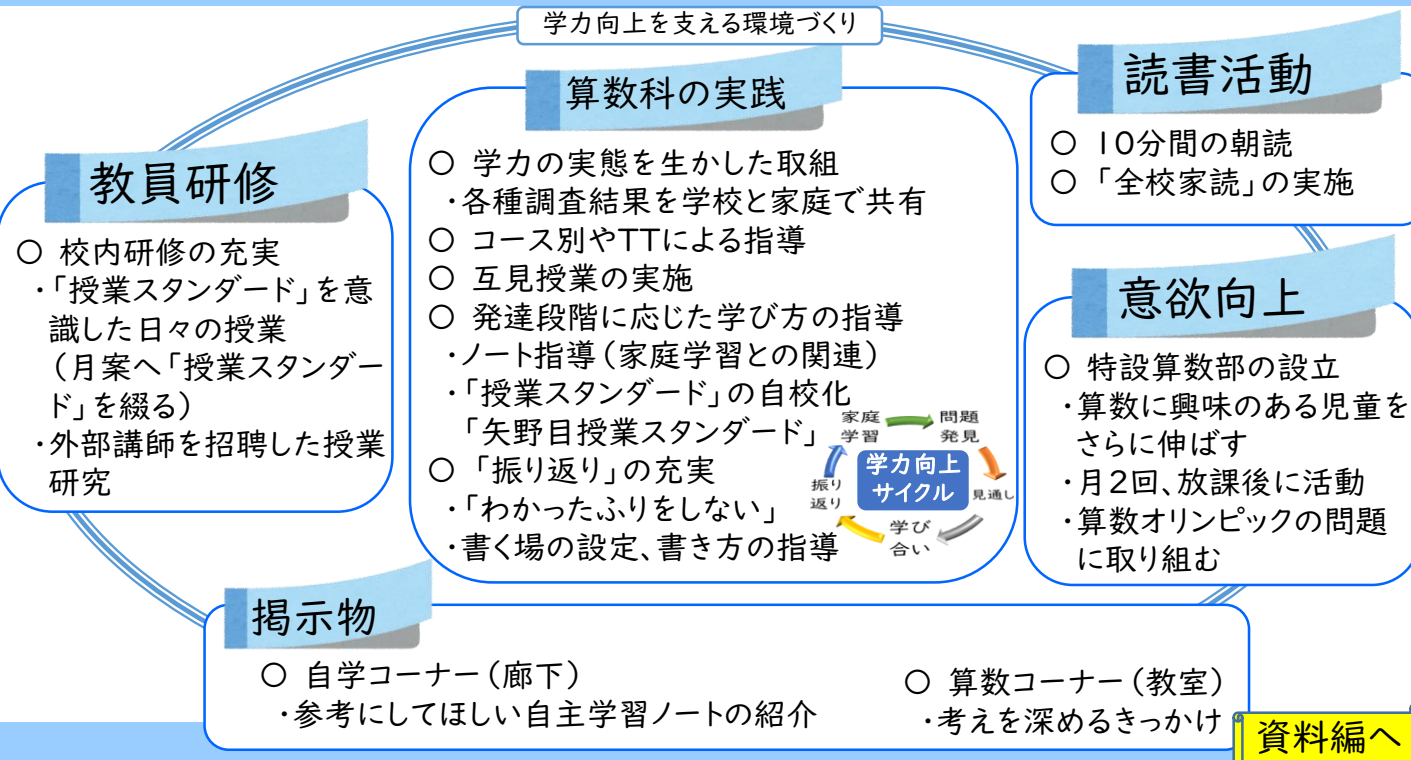


継続と徹底による学力向上サイクルの確立と学習環境整備

福島市立矢野目小学校

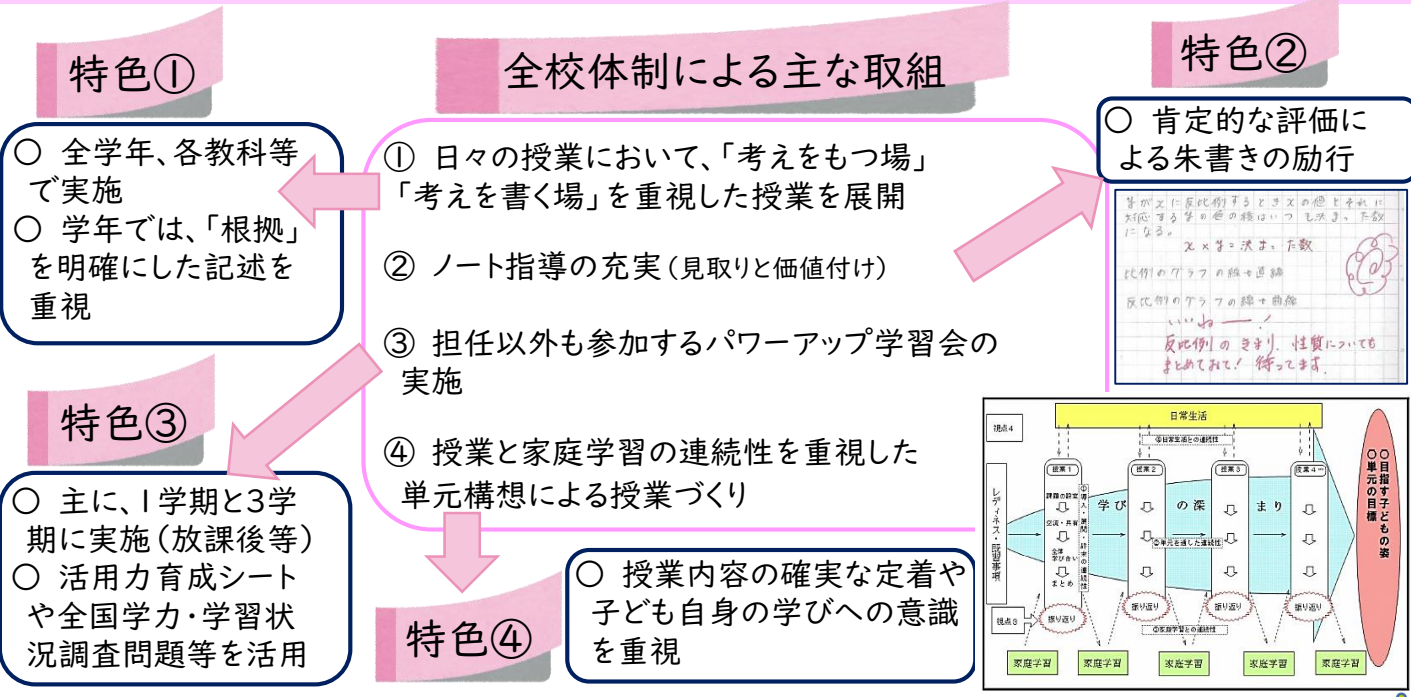
ふくしまの「授業スタンダード」を基に児童の実態を踏まえ自校化し、授業の質の向上に努めている。指導計画に活用力育成シートの実施を位置付けるとともに、各教科で単元の終わりに発展的な問題を取り上げるなど活用力育成に取り組んでいる。また、学力向上サイクルを支える環境づくりの充実を図っている。



全職員の共通理解に基づく、全校体制による自校化した実践

伊達市立保原小学校

全職員が自校の課題を捉え、国語科や算数科などの特定の教科に限らず、各教科等においても、「自分の考えを書く」という活動を重視して、日々の授業実践を積み重ねている。また、パワーアップ学習会を実施し、該当学年以外の教員も参加し指導するなど、全校体制で学力向上に取り組んでいる。



各学年において、各種調査等の結果分析・考察を踏まえ学力向上プランを作成し、学年の目標と手だてを明確にして指導に当たっている。また、目的意識・相手意識を重視した表現活動を充実させることで、「書く」「話す・聞く」等、表現力の向上にも努めている。

学年の実態把握及び課題と手だての明確化

- ① 学年経営グランドデザインの作成と活用
- 教育目標を達成するための学年の目標と手だてを明らかにして日々の指導に生かす。
 - 家庭にも配付し、学校との共通理解を深め、連携を図りつつ個に応じた指導を展開している。

- ② 学年学力向上プランの作成と活用
- 全国学力・学習状況調査をはじめとする各種調査、活用力育成シート等の結果分析・考察を基に、学年の実態を踏まえた学力向上プランを作成。また、学期ごとに振り返りを行い、課題に対する手だてを評価・改善し次学期に生かすようにしている。

言語活動の充実

- 表現活動の充実（書く活動、発表活動）
 - ・ 教科横断的な取組
 - ・ 相手意識・目的意識に支えられた取組
 - ・ 掲示物や集会等、表現する場の保障・充実

日常の取組

- 職員室での「子どもの学びの姿」の共有
 - ・ 先生方が、授業や子どもの姿等について気軽に語り合える雰囲気があるのが強み。

[資料編へ](#)

全員が関わり学習する学級風土づくりと授業改善の取組

矢祭町立矢祭小学校

児童が、主体的に考え、伝え合いながら課題を解決する授業づくりを目指し、授業改善アクションプランを設定している。教師は、それを基に授業を振り返り、学校全体でPDCAサイクルを生かした授業改善に取り組んだ結果、児童の学習意欲が向上し、学び合う集団としての質も向上している。

授業の質的改善

授業改善アクションプラン10

- ① 必然性のある学習課題設定
- ② 明確な見通しをもたせる場の工夫
- ③ 自力解決の場の設定と実態の把握
- ④ 考えを交流する場の位置付け
- ⑤ 話し合いのコーディネート充実
- ⑥ 構造的で明確な板書の工夫
- ⑦ 児童の思考を活性化させる明確な発問
- ⑧ 適切な評価による学習展開の工夫
- ⑨ 学習課題と整合性のあるまとめ
- ⑩ 1問以上の習熟の時間の位置付け

学び続ける子ども

- 失敗や間違いが気持ちよく受け入れられる環境づくり
- 6年生でのゴールの姿を想定し、6年間を通した系統的な指導
- 児童の努力を見取り価値付け、自己存在感を高める指導

読書活動

- 司書教諭や担任による読書への働きかけ
- 読書習慣の形成
- 家読の実践

家庭学習

- R-PDCAサイクルを生かした家庭学習カード
- 単元末テストに向けた自主学習の取組

言語活動

- 書く機会の確保
- 構成を考えて書く
 - ・ 書くことへの抵抗感をなくす指導に継続して取り組む

少人数学級の特性を生かしながら互いに学び合い、深め合うことのできる授業を展開するとともに、記述式の問題に対応するために教育課程全体を通して「書く」機会を設定している。また、読書活動や短歌、俳句の創作、各種コンクールの全員参加など、語彙を豊かにする取組の充実を図っている。

言語活動の充実

- 短歌や俳句の創作
- 新出漢字の先行学習
- 読書活動の充実
 - ・朝の読書、家庭読書、読み聞かせ
- 「書く」活動の充実
 - ・相手や目的を意識した表現
 - ・時間や字数等の制限

朝の時間の工夫

- スキルアップタイムの実施
 - ・ドリル等の解き直し
 - ・授業に関連のある問題
- 条件作文とスピーチの実施

親和的な学習集団

- 生徒指導の機能を生かした学び
- 学習の約束の徹底

家庭学習の充実

- 授業と家庭学習の連動
 - ・学習時間とメディアコントロールを意識させるための学習カードの工夫
- ノーメディアデーの実施

学力向上プラン

- 学習のねらいの明確化
- 伝え合う場の設定
 - ・「学習スキル」の掲示
- 個に応じた指導
 - ・学習形態の工夫
 - ・発展的な問題、補充的な問題
- 振り返りの時間の確保
 - ・学習内容の定着の時間
- 授業チェックシートによる指導の振り返り(週案)

資料編へ

校内研修を生かした日々の授業の工夫

校内研修を中心に、授業で取り組む手だてを共通理解し、実践している。管理職や研修主任からの情報提供、外部講師からの助言などを基に、日々の授業の充実を図っている。「記述」や「スピーチ」などの言語に関する指導を、授業だけでなく教育活動全体において数多く取り入れている。

学び合いのある日々の授業

- 学びの土台を整える指導(話す・聞く、約束事)
- 児童が活躍する授業
- 学びの見取り、意図的指名
- 振り返りの時間の設定
- 互見授業の実施
- 「授業スタンダード」の活用(発問例や学習の流れをラミネートして掲示)

校内研修の充実

- 模擬授業、事後研の工夫
- 分かりやすく具体的な指導
 - ・管理職からの情報提供
 - ・授業を撮影した動画を使った指導
 - ・研修主任による「校内研究だより」の発行
- 外部講師の活用、動画視聴による研修会

言語に関する指導

- 読書タイム
- 図書委員会の読み聞かせ
- 辞書引き学習の推進
- 条件作文、スピーチ

その他の取組

- 週2回の学力向上タイム
- 家庭学習強化週間
- TTの活用
- 中学校区での共通した取組の実践

日々の授業のまとめや振り返りにおいて、子どもたちが自分の言葉で書く機会をすべての教科で意図的・意識的に設定するなど、「書く力」を重視した教育活動を展開している。また、家庭学習においても、自分の考えを書かせる指導を重視している。

授業改善の重点の共通理解・共通実践

《改善に向けた具体策》※学力向上の「一丁目一番地」。どの教科でも同一歩調で実践。

- (1) 話し合い・学び合いを生かした授業を行う<話し合いの活動の場を設定する>
 - ・相手に伝わるような話し方・相手の考えを理解しようとする聴き方の指導を徹底する。
 - ・学習形態(ペア・グループ等)を工夫して意識的に取り入れる。
- (2) 課題設定の工夫をする<子どもに見通しをもたせる>
 - ・ICTを活用した具体的な資料を提示する。
 - ・日常性のある資料を準備することで課題意識をもたせる。

重要視

「書く振り返り」
「解く振り返り」

- (3) 書く力を育てる<振り返りを書く時間の確保>
 - ・まとめと振り返りの時間の確保のために、授業の展開内容を精選する。
 - ・めあてや条件に合った、まとめや振り返りを書かせる。

考えて表現する家庭学習

- 授業同様、家庭学習においても自分の考えを書かせる指導を重視している。自己マネジメント力の育成のため、計画と反省(振り返り)の記録も毎日行っている。

熱心な教師集団

- 先生方の研修意欲が高く、研修等で学んだことをすぐに授業にフィードバックしたり、お互いに情報交換をしたりしている。

資料編へ

「理想とする授業」を可視化した資料に基づく日々の授業改善

いわき市立平第一小学校

校内研修において、研究主題や内容の研修を行い、共通理解のもとに「理想とする授業」を作り上げ、日々の授業に生かしている。また、「人間関係の醸成」、「学び方の指導」など授業の基盤となる学級経営にも力を入れ、「認め合える文化」、「聞く力の育成」に努めている。

「理想とする授業」に向けた校内研修の充実

- 研究主題・内容の共通理解
- 授業につながる教材研究の工夫(教科書の比較、系統性の調査)
- 授業につながる資料や情報の共有
- 家庭への情報発信(授業研究や学習活動の紹介)



理想とする授業

日常の活動の充実

- 読書活動、体験活動の充実
 - 事後の伝え合い活動
- 書く活動の充実
 - 条件作文、振り返りの記述
- 「分からない」と言える学級づくり
 - 聞いてもらえる、認め合える文化の醸成
- 学び合う教師集団
 - 教科の本質に迫る教材研究、互見授業

資料編へ